

目次

ぐんま大会実施要項	3
ホテル磯部ガーデンについて	4
各案内（ぐんま大会 HP・宿泊先・マップ・最寄駅等）	5
開催趣旨（大会テーマ 建築の芽を育んべえ）	6
大会スケジュール（前日～翌日）	7
大会内容	8
タイムテーブル（当日）	10
会場見取図（1～4 階）	11
イベントにおける事故・物損に関する留意事項および免責事項	13
各種手続き・ご案内について	14
提出物について	15
第一分科会 I 実施要項	16
第一分科会 II 実施要項	18
第二分科会 I・II 実施要項	20
第三分科会 I 実施要項	23
磯部温泉周辺マップ	24
エクスカージョンについて	25

令和8年度関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会ぐんま大会

大会テーマ【 建築の芽を育んべえ 】

実施要領

【大会概要】

- 主催 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会
- 共催 一般社団法人群馬建築士会
- 対象 関東甲信越建築士会ブロック会に所属する建築士
- 日程 令和8年6月19日(金)、20日(土)
- 会場 舌切雀のお宿 磯部ガーデン
(開会式・全体会議・本プログラム会場・閉会式・大懇親会・交流会 会場)
〒379-0127 群馬県安中市磯部 1-12-5
<https://www.isobesuzume.co.jp/>
- 宿泊 舌切雀のお宿 磯部ガーデン
- 交通 上越新幹線 JR 高崎駅→JR 磯部駅 (徒歩5分)
北陸新幹線 JR 安中榛名駅 (タクシー20分)
上信越自動車道 松井田妙義 IC (R18で10分)
※駐車場は磯部ガーデン用でしたら無料となります。

【大会参加費】

- 各建築士会会員
 - ・昼食お弁当(19日) 1,500円/人 ※希望者のみ
 - ・大会登録費(19日) 5,000円/人
 - ・宿泊有・大懇親会参加費(19日) 15,000円/人
※4名以上同部屋の場合の価格となり、1~3人部屋の場合は追加料金となります。
 - ・宿泊無・大懇親会参加費(19日) 12,000円/人
 - ・交流会参加費 (19日) 4,000円/人 ※希望者のみ 大懇親会后 22時~
- ・エクスカージョンⅠ 磯部せんべいサクサクウォーク(20日) 1,100円/人 1時間程度
企画: hitoritiro.cafe (ヒトリトイロ) 当日集金、当日現地支払
- ・エクスカージョンⅡ 碓氷峠廃線ウォーク(20日) 昼食付 6,600円/人 時間: 09:30~14:00
服装: 長袖、長ズボンをお持ちください。
企画: 安中市観光機構
通常開催時期ではありませんが、特別に開催していただく企画です。 <https://haisen-walk.com/>



舌切雀のお宿 ホテル磯部ガーデン



磯部温泉はあの温泉マーク発祥の地!

万治4年(1661)、付近の農民の土地争いに決着を付けるため評決文「上野国碓氷郡上磯部村と中野谷村就野論裁断之覚」が、江戸幕府から出されました。

その添付図には磯部温泉を記した温泉マークが2つ描かれていたのです。

専門家が調査した結果、この温泉マークは日本で使われた最古のものだと判明。

こうして磯部温泉は温泉マーク発祥の地となりました。



About 童話「舌切雀物語」が 生まれた宿



オリジナルキャラクター おちゅん



舌切雀伝説のお宿

昔むかしのおとぎの世界。
「舌切雀」の伝説が生まれた地として知られる磯部温泉。
時は流れ、今、雀たちが真心をこめておじいさんをおもてなしたように、社員一人一人が「笑顔」と「心からのおもてなし」でお客様をお迎えいたします。
舌切雀のお宿でのひとときをお楽しみいただき、ご満悦という「つつら」をお持ち帰りいただけますようお願いしつつ、真心を尽くしてまいります。

磯部ガーデンについて

当館は代々土地の庄屋を務める家でございまして、旅館業を営む前からも、都会の俗塵を避けて磯部に清遊に訪れる多くの文人墨客の諸氏をお泊めし、ご静養いただいております。

ご滞在中に所望して書いていただいた書画が当館には多く残されており、その一部はロビーに展示してお客様にご覧いただいております。

そんなことからでしょうか、あるいはこの磯部の里がうしろに険阻な妙義の山々、前に清冽な碓氷川が流れ、竹藪に囲まれた静かな村だったからでしょうか。

この磯部温泉には舌切雀の伝説が伝わっております。そして誰言うともなく当館のことを「舌切雀のお宿」と言い習わしてまいりました。それを示すように、当館の敷地内には舌切雀神社が祭られており、はさみ・つつら・舌切雀絵巻などゆかりの品々が残っております。

■各案内 QR コード読み取り or ◆～をクリック

◆ぐんま大会ホームページ



◆宿泊先 磯部ガーデンホームページ



◆磯部ガーデン Google マップ



◆最寄り駅 信越線 磯部駅



【大会テーマ】

建築の芽を育んべえ

【開催趣旨】

平成27年に開催された関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会群馬大会では、「建築の種をまこう」をテーマに掲げ、青年建築士一人ひとりの活動が、やがて建築の未来につながる“種まき”であると考え、建築士会活動の活性化を目的として実施されました。

それから年月が経ち、当時まかれた多くの種は、各地で芽を出し、少しずつ成長してきました。各都県において継続して取り組まれてきた活動や、その時々課題に応じて生まれた新たな試みは、今や「芽」の段階を越え、確かな実践として根付きはじめています。

そうした青年建築士による活動を改めて公にし、同世代である青年建築士の視点からその価値を共有し、称える場とします。

活動の成果だけでなく、そこに至るまでの想いや工夫、継続する中で得られた気づきに目を向けることで、活動実践者のさらなる意欲向上を図るとともに、報告を聞く参加者自身が、これからの建築士活動を考えるきっかけとなることを目指します。

「建築の芽」を、次の世代へとつなげていくために、青年建築士一人ひとりの活動を見つめ直し、次の成長へ踏み出す場となることを期待します。

【大会ロゴ及びデザインコンセプト】



コンセプト



全国大会ロゴ



関東甲信越ブロック会ロゴ

“右肩上がりに紡がれ、たなびく織物”と“鶴の方翼”をシンボライズしました。

「絹の国」と称され、蚕から生み出される絹から織物を生産し続けてきた群馬県。これまでの、そしてこれからも続いていく織物業界を陰で支えてきたのは“建築”であることは間違いありません。

また群馬県のシルエットでもある“鶴”の羽を想起させるディテール。

その羽は片翼のみを表現し、「片翼だけでは羽ばたけない、羽ばたくには両翼の存在が必要である」という意味を込め、見えていないもう一方の片翼を建築が担っているというデザインです。

そして、全国大会も同年度に群馬にて行われるため、全国大会とのつながりを表現するために、デザイン感を統一し、カラーを全国大会と反転したものを採用することで、大会イメージの繋がりを表現しています。

【スケジュール】

前日 6月18日(木)

13:00～17:00 会場設営準備 及び 関ブロ青年建築士協議会理事会

18:00～20:00 大会関係者前夜祭 会場：磯部築

当日 6月19日(金)

会場：磯部ガーデン

09:00～12:00	大会参加者受付	(本館 1F ロビー)
12:00～12:40	開会式・全体会議	(コンベンションホール「平安」)
12:55～14:25	第一分科会 I	(コンベンションホール「平安」)
14:45～16:15	第一分科会 II	(コンベンションホール「竹」 312)
	第二分科会 I	(中宴会場「竹」 313)
	第二分科会 II	(コンベンションホール「梅」 301,302)
	第三分科会 I	(コンベンションホール「平安」 204・205)
16:30～18:30	温泉タイム ※温泉は 25 時までは入れます。	
18:30～	閉会式・大懇親会会場 入場開始	(コンベンションホール「桜」)
19:00～19:45	閉会式	(コンベンションホール「桜」)
※大懇親会にご参加されない方は閉会式へのご参加ができませんのでご注意ください。		
19:45～21:45	大懇親会	(コンベンションホール「桜」)
22:00～24:00	交流会	(スナックシャトル)

翌日 6月20日(土)

07:30～8:30 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会 新旧理事会

09:00～12:00 エクスカーション① 磯部せんべいサクサクウォーク

09:30～14:00 エクスカーション② 碓氷峠廃線ウォーク

【大会内容】

≪前日（18日）≫

■理事会 磯部ガーデン1階バラの間

≪当日（19日）≫

■開会式 全体会議 コンベンションホール「平安」

■第一分科会Ⅰ コンベンションホール「平安」

各都県代表による地域実践活動の発表

- ・発表者はステージに登壇し、パワーポイント等を使用した発表を行う。
- ・発表時間は7分間とする。
- ・最優秀賞、優秀賞、会場賞などの審査、表彰を行う。
- ・プレゼンテーションについては(基準1)～(基準3)について評価する。

(基準1) 地域実践活動を通じ、建築士として各地域に貢献できているか？

(基準2) 将来の建築士を目指す若者を巻き込み、または彼らの関心を引く活動であるか？

(基準3) 自都県の建築士会に持ち帰り広めたいか？

※詳細は第一分科会実施要項に記載。

■第一分科会Ⅱ コンベンションホール「竹」312

- ・第一分科会Ⅱ（質疑会）は、会場を移動し、1室で展示会方式と致します。
- ・質疑会を行う展示場所（ブース）を各都県に1か所ずつ配置し、地域実践活動報告会で発表した内容を補足するための展示パネルをご用意して頂きます。（A1サイズ×2枚まで）
- ・質疑内容については、第一分科会Ⅰの投票の際に、Googleフォーム内に質疑内容を記入する欄をご用意しますので、そちらに事前にご記入をお願い致します。
- ・質疑回答および意見交換の時間は、第一分科会Ⅱの持ち時間（90分）内に、各都県に5分ずつ割り当てさせていただきます。順番は、第一分科会Ⅰの発表順と致します。
- ・割り当て時間内に回答出来なかった場合、全都県を対象に最終質疑会の時間を20分ご用意致しますので、その時間に対象ブースまでお越しください。
- ・各展示場所には、展示内容に加えて、

○第一分科会Ⅰの発表者 ○活動内容について補足説明のための発表者サポーター
の2名を配置して頂きます。

※各担当者の方は、質疑・意見交換の時間には必ず担当ブースに居るようにお願い致します。

※詳細は第一分科会Ⅱ実施要項に記載

■第二分科会Ⅰ コンベンションホール「竹」313

- ・身近な設計事例を通して、将来の糧や発見の「芽を見つける」

参加型パネルディスカッション

将来の糧となる「芽を見つける」べく、この場所で行うからこそそのテーマを皮切りに、パネリストの設計事例を交えて、聴衆参加型でディスカッションを多岐にわたらせる。

ディスカッションを通して、生の情報を交換し、人脈を繋げて、建築士会の魅力や価値など様々な芽を見つける。

■第二分科会Ⅱ 中宴会場「梅」301,302

お茶を淹れる音と時間を楽しむ 文化の発信 五感で愉しむ進化した日本茶

伝統的な日本茶とは異なる進化を楽しむことで、【芽を見つける】ことの一助にしたい。

温泉タイム中もお茶に限りはありますが懇親の場としてお茶を楽しめるように計画しています。

※詳細は第二分科会 実施要項に記載

■第三分科会Ⅰ

・様々な事を知見し経験することで、関ブロ大会って『楽しい!』『仲間がたくさんいる!』という初心の思いを参加者全員と共有して頂くため、グループディスカッションを行います。

・初見の仲間たちと自分自身の意外な共通点が幾つあったか・住んでいる場所が違うというだけの仲間同士で同じ共通点を持った人や建築とかけ離れたニッチな共通点を持った人とのさらなる深いつながりを感じ、関ブロ大会って『楽しい!』『仲間がたくさんいる!』を実感していただき、共通点の数や共通人数による配点で最終集計を順位発表します。※参加者同士の懇親を第一としています。

順位に応じ、ささやかな景品を参会者にご用意しておりますので、奮ってご参加ください。

※詳細は第三分科会 実施要項に記載

■閉会式・結果発表 大懇親会 コンベンションホール「桜」

・全体会議閉会式と結果発表は大懇親会場と同会場で行います。

・今回は大懇親会前に磯部温泉と堪能していただき、日ごろの疲れを癒していただくことも一つの目的となっております。また、大懇親会の際には普段では各都県カラーポロシャツ着用していた所を、みんな同じ浴衣の着用にご協力ください。関東甲信越建築士会ブロック会が一つになりこれからは都県別ではなく、関東一枚岩となり一致団結できる関係性を築きたいです。

■交流会 / 関ブロ交流会 は磯部ガーデン1階（スナックシャトル等）にて行います。

《翌日（20日）》

■理事会 磯部ガーデン1階バラの間

■エクスカージョンⅠ・Ⅱ

Ⅰ・磯部せんべいサクサクウォーク

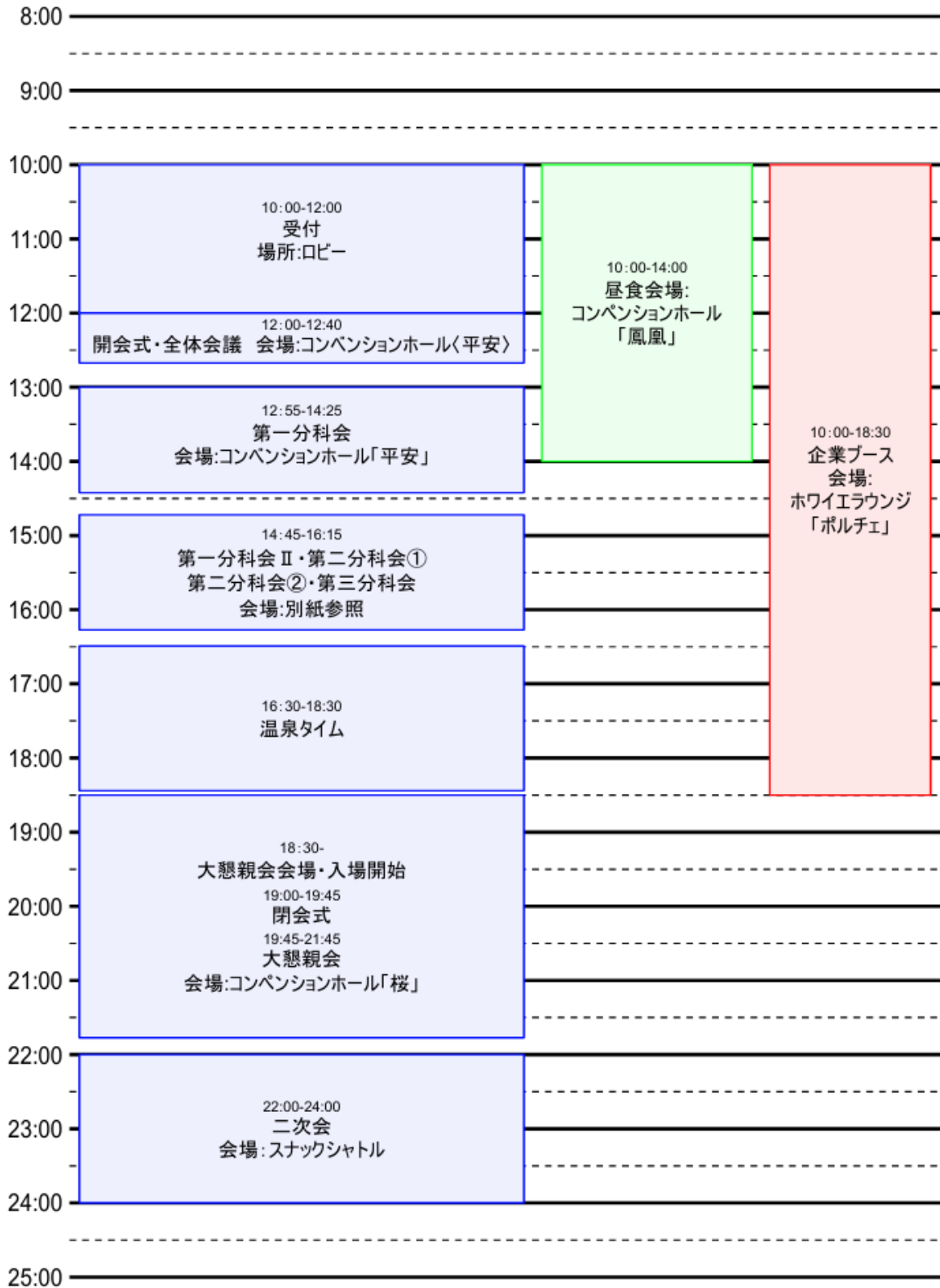
※hitoritoiro.cafe（ヒトリトイロ）

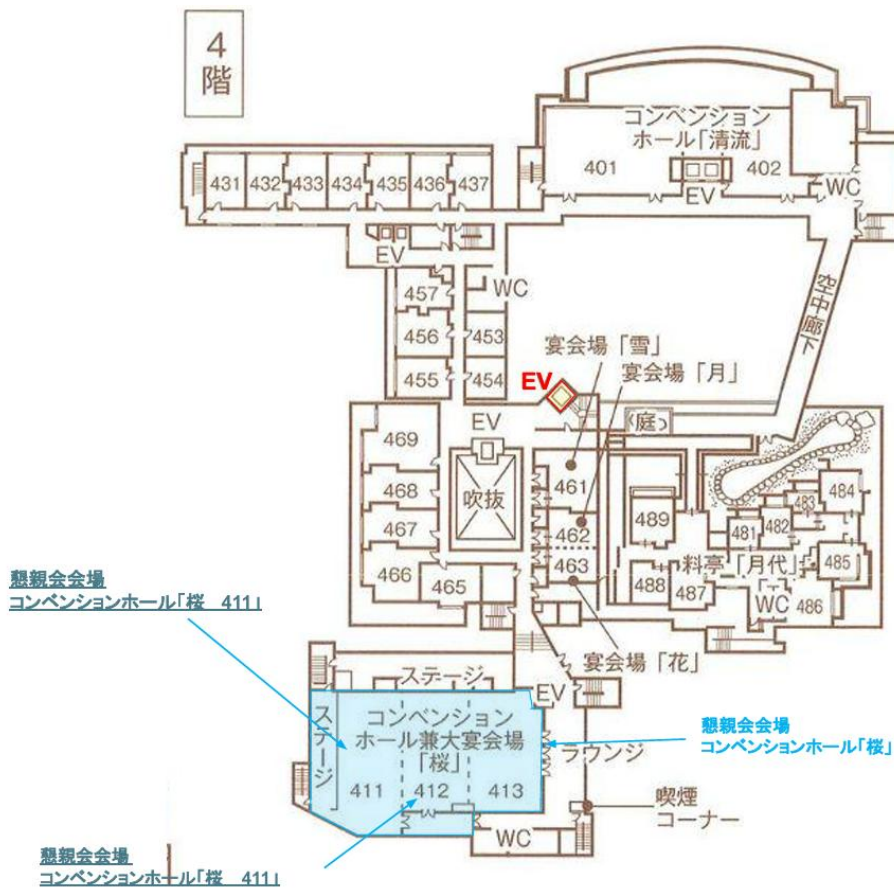
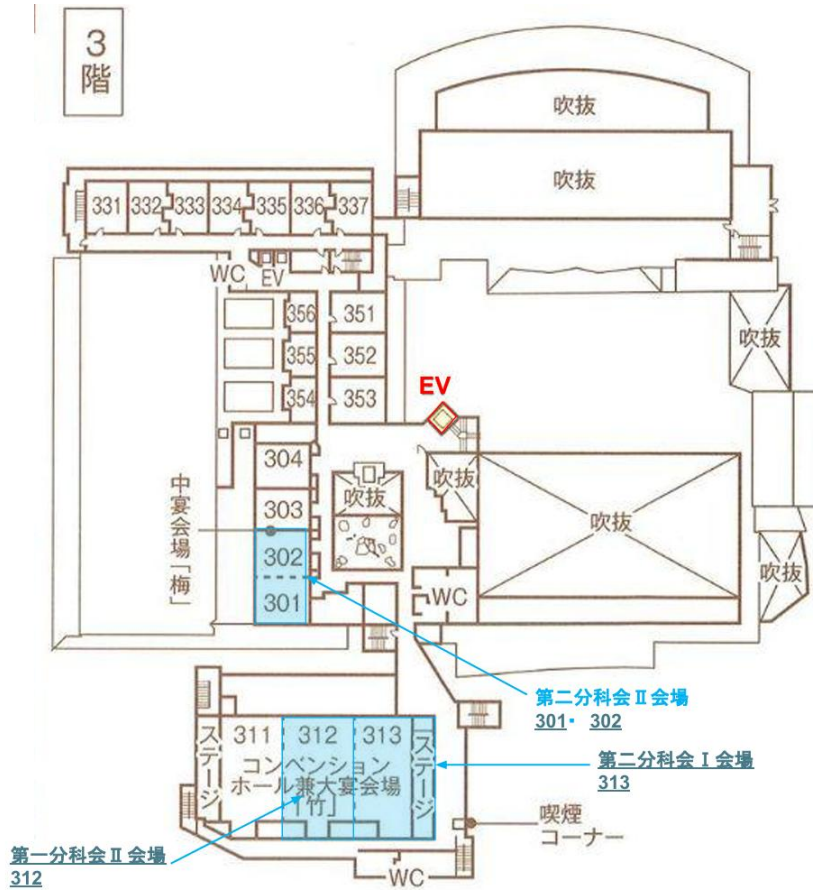
Ⅱ・碓氷峠廃線ウォーク

※安中市観光機構

タイムテーブル

6/19(金)





【イベントにおける事故・物損に関する留意事項および免責事項】

大会へのご参加に際し、以下の事項をご確認の上、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

1. 事故・怪我について

- 会場内での事故や怪我については、主催者および関係者は一切の責任を負いかねます。
- 安全確保のため、各会場のスタッフの指示に従い行動してください。
- 必要に応じて、ご自身で保険（傷害保険等）への加入をご検討ください。
- 万が一、事故や怪我が発生した場合は、速やかに本部スタッフへご報告ください。

2. 物損・盗難について

- 会場内での盗難・紛失・破損について、主催者および関係者は責任を負いません。
- 貴重品はご自身の責任で管理してください。
- 施設や備品を破損した場合は、修理費等をご負担いただく場合がございます。

3. 免責事項

- 天災、交通機関の遅延、不可抗力によるイベントの中止や変更について、主催者は責任を負いません。
- イベントの内容やスケジュールは、やむを得ない事情により変更される場合があります。
- 本イベントに関連して発生したいかなる損害についても、主催者および関係者は責任を負いかねます。

大会へのご参加申込をもって、上記の内容にご同意いただいたものとみなします。ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【各種手続き・ご案内について】

■大会参加者名簿の提出について

各都県の記入責任者が **4月24日(金)**必着で、電子メールにて名簿ファイル（エクセル形式）を送信願います。

【提出先メールアドレス】

群馬建築士会事務局 武井 宛

E-Mail : lee06153@nifty.com

■大会参加費について

大会参加費は、各都県の大会参加費取扱い責任者にメールにてご連絡いたします。

請求書が届きましたら、指定の口座にお振込みをお願いいたします。

請求書は、6月上旬に発送させていただきます。

【キャンセル料】(大会参加費5,000円は返金できません)

6月8日以降の場合：100%いただきます。

■宿泊について

都県別にまとめて部屋を割り振ります。(割り振りはホテルに一任します)

各都県の記入責任者が **4月24日(金)**必着で、電子メールにて名簿ファイル（エクセル形式）を送信願います。

■手荷物預かり方法について(参加者に周知願います)

チェックイン時までは1階スナックシャトルにてお預かりします。(施錠管理いたします。)

貴重品はお預かりできませんので、必ず自己保管願います。

■ホテルのチェックイン等について(参加者に周知願います)

6月18日 理事会及び分科会準備終了後、各都県理事にルームキーをお渡しいたします。

6月19日 後半各分科会終了後、各都県理事にルームキーをお渡しいたします。

(前泊理事等、部屋や宿泊先が移動になる場合がありますので了承願います)

ルームキーをチェックアウト時に1Fフロントまで返却してください

※電話・冷蔵庫料金・追加料理等は各自、精算お支払いください。

■駐車場について

ホテル専用の駐車場がございます、案内スタッフに従い駐車してください。

貴重品は車内に置かないようお願いいたします。

■その他提出物について

ぐんま大会では、各種提出物いただきますデータの保管と適切な厳格管理、円滑な大会準備を 目的に当方で用意しました Google ドライブへの提出を基本とします。

※大会申込リストと地域実践活動報告会プレゼンデータは除く

次頁にあります「ぐんま大会提出物一覧」をよくご確認いただきまして指定フォルダへ格納をお願いします。

他都県の提出物をダウンロードする、編集することはおやめください。不自然な履歴が確認された場合には、当該アカウントをアクセス不可にしますのでご注意ください。

【提出物について】

項目	期日	提出形式	提出先
01 ぐんま大会申込リスト	4/24(金)	指定形式 Excel	メールで提出 群馬県建築士会事務局 lee06153@nifty.com
02 発表者・審査員等名簿	4/17(金)	指定形式 Excel	ドライブ 02
03 地域実践活動報告会発表要旨集データ※1	4/24(金)	指定形式 Word 及び PDF 化したもの	ドライブ 03
04 地域実践活動報告会発表プレゼンデータ	6/6(土)	PowerPoint 等 ※2	別途個別案内
05 地域実践活動報告シート※1	4/24(金)	指定形式 Excel 及び PDF 化したもの	ドライブ 05
06 山梨大会案内	4/24(金)	指定形式 Word 及び PDF 化したもの (A4、1枚)	ドライブ 06
07 質疑応答書(任意)	4/17(金)	指定形式 Excel	ドライブ 07
08 第一分科会Ⅱ展示パネルデータ	5/22(金)	指定形式 PDF 化したもの(A1、2枚まで)	ドライブ 08

・各種提出物の命名規則「項目名_日付_各都道府県名」としてください。

(例)「01 ぐんま大会申込リスト_0318_群馬」「05 地域実践活動報告シート_0318_群馬」

・各種データについて、Google ドライブにアップロードできない場合は、適切なストレージサービス等を利用したうえで、群馬県建築士会事務局へ連絡してください。

・「04 地域実践活動報告会発表プレゼンデータ」のアップロードについては、関ブロ青年協理事を通じて発表者に個別案内します。

※1 要旨集用のデータに関してはいただいた PDF がそのまま掲載されます。

誤字や改行のミスなどの修正はしませんので必ず自県でご確認してからご提出ください。

※2 地域実践活動報告会細則を必ず確認してください。

令和8年度 関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会 ぐんま大会
第一分科会 I 地域実践活動報告会 実施要項

1. 趣旨

平成27年に開催された関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会群馬大会では、「建築の種をまこう」をテーマに掲げ、青年建築士一人ひとりの活動が、やがて建築の未来につながる“種まき”であると考え、建築士会活動の活性化を目的として実施されました。

それから年月が経ち、当時まかれた多くの種は、各地で芽を出し、少しずつ成長してきました。各都県において継続して取り組まれてきた活動や、その時々課題に応じて生まれた新たな試みは、今や「芽」の段階を越え、確かな実践として根付きはじめています。

本分科会では、そうした青年建築士による活動を改めて公にし、同世代である青年建築士の視点からその価値を共有し、称える場とします。

活動の成果だけでなく、そこに至るまでの想いや工夫、継続する中で得られた気づきに目を向けることで、活動実践者のさらなる意欲向上を図るとともに、報告を聞く参加者自身が、これからの建築士活動を考えるきっかけとなることを目指します。

「建築の芽」を、次の世代へとつなげていくために、本分科会では青年建築士一人ひとりの活動を見つめ直し、次の成長へ踏み出す場となることを期待します。

2. 発表内容

- 大会趣旨に基づき、各都県での活動を発表すること。
- 今年度（前回大会以降）に実施した活動であること。
（前年度以前より継続的に実施している活動も含む）
- プレゼンテーションにて発表する内容は原則として、1件とする。
- プレゼンテーションで発表するデータはPowerPoint等データ形式とする。

3. 審査基準

- プレゼン評価及び大会趣旨に基づき3項目について採点する。
- プレゼンテーションについては(1)～(3)について評価する。
(基準1) 地域実践活動を通じ、建築士として各地域に貢献できているか？
(基準2) 将来の建築士を目指す若者を巻き込み、または彼らの関心を引く活動であるか？
(基準3) 自都県の建築士会に持ち帰り広めたいか？

4. 採点方式

((最優秀賞、優秀賞、会場賞))

- 審査員は各都県2名ずつの合計20人による投票により決定する。
 - ・(基準1) 5点
 - ・(基準2) 5点
 - ・(基準3) 5点

○1 審査員は15点満点の持ち点とする。15点 x 18名 = 最大270点満点とする。

(※自都県には投票できません)

○集計は採点用紙を使用とする。

○各賞が同点となった場合には、最優秀賞については会場票が多い都県を、

さらに同点の場合は審査員長（青年協理事、管理・推進部会長）により決定する。

((会場賞))

○審査員を除く、全ての参加者の投票により決定する。

○プレゼンについて評価を行う。

○最も審査基準に合致していると思う上位2都県へ各1点を投票する。(自都県への投票も可)

○各得点1位の都県を会場賞とする。

○集計はGoogle フォームを使用とする。

○会場賞において同点が生じた場合は、該当する対象者全員を受賞者とします。

○会場賞は最優秀賞、優秀賞も選考の対象とします。

5. 表彰

○最優秀賞 1 都県 (総合評価の第1位)

○優秀賞 2 都県 (総合評価の第2, 3位)

○会場賞 1 都県 (会場評価の第1位)

○参加賞 7 都県 (最優秀賞、優秀賞を除く)

6. プレゼンテーションの発表時間の開始と終了

○各都県の発表時間は7分とする。

○司会者の「それでは発表を始めてください」後の鐘1回の合図で開始する。

○終了1分前に鐘1回、終了時に鐘2回を鳴らす。

○15秒以上の超過により50点減点(審査員の合計点より減点)とする。

○30秒以上の超過により強制終了のうえ失格(プレゼン評価の得点を与えない)とする。

○トラブル等があった場合は審査員長の判断とする。

7. 発表者に対する質疑会

○質疑会は第一分科会Ⅱにて行うものとする。

○第一分科会Ⅰにて審査を行った者は、第一分科会Ⅱに参加する。

第一分科会Ⅱ 実施要項

1. 趣旨

第一分科会Ⅰ（地域実践活動報告会）で発表した各都県の発表を踏まえて、参加者が所属する地域の建築士会に持ち帰り、今後の活動の参考とし、地域へのさらなる貢献や自己研鑽に努めることを目的として、意見交換をする場を設けます。地域の特色が表れた各都県の発表について、意見交換することで、各都県の活動についてより深く知る機会とします。

2. 概要

◆質疑会について

- ① 質疑会は、会場を移動し、展示会方式と致します。
- ② 質疑会を行う展示場所（ブース）を各都県に1か所ずつ配置し、地域実践活動報告会で発表した内容を補足するための展示パネルをご用意して頂きます。（A1サイズ×2枚まで）
- ③ 質疑内容については、第一分科会Ⅰの投票の際に、Google フォーム内に質疑内容を記入する欄をご用意してありますので、そちらに事前にご記入をお願い致します。
- ④ 質疑回答および意見交換の時間は、第一分科会Ⅱの時間（90分）内に、各都県に5分ずつ割り当てさせていただきます。順番は、第一分科会Ⅰの発表順と致します。
- ⑤ 割り当て時間内に回答出来なかった場合、全都県を対象に最終質疑会の時間を20分をご用意致しますので、その時間に対象ブースまでお越しください。
- ⑥ 各展示場所には、展示内容に加えて、
・第一分科会Ⅰの発表者 ・活動内容について補足説明のための発表者サポーター
の2名を配置して頂きます。各担当者の方は、質疑・意見交換の時間には必ず担当ブースに居るようにお願い致します。

◆参加者

- ① 第一分科会Ⅰ（地域実践活動報告会）での発表者。
- ② 発表者サポーター…各都県より1名選出をお願い致します。
- ③ 第一分科会Ⅰにおいて、質疑を投稿した方。

【上記に該当する方々は、各都県の意見交換会の時間に、ブースまでお越しください】

※その他、各ブースの展示内容の観覧は自由となります。

3. 進行表

- ① 開催時間 14時45分～16時15分（90分間）
- ② 意見交換会の順番

概要説明（2分）⇒①山梨（5分）⇒準備時間（2分）⇒②神奈川（5分）⇒準備時間（2分）
⇒③栃木（5分）⇒準備時間（2分）⇒④埼玉（5分）⇒準備時間（2分）⇒⑤茨城（5分）
⇒準備時間（2分）⇒⑥長野（5分）⇒準備時間（2分）⇒⑦新潟（5分）⇒準備時間（2分）
⇒⑧千葉（5分）⇒準備時間（2分）⇒⑨東京（5分）⇒準備時間（2分）⇒⑩群馬（5分）
⇒最終質疑会（全都県・20分）⇒意見交換会終了

（※第1発表者の山梨の方は、第一分科会Ⅱの開始5分前に、ブースまでお越しください）

- ③ 各都県の持ち時間5分については、会場内に進行役スタッフを配置し、進行・時間計測を行います。
- ④ 進行役より「それでは、〇〇建築士会の質疑会を始めます」とアナウンスします。その後、ベルを一度鳴らすので、そこから質疑会を開始してください。
- ⑤ 終了1分前となった時点で、ベルを一度鳴らすので、その時点の質疑・意見を最終としてください。
- ⑥ 最後に、各発表者より参加のお礼と、今後の活動への意欲・展望を簡潔にお話しいただき、そのブースの意見交換会を終了してください。

4. ブースの配置



- ① 意見交換会の持ち時間以外にも、展示内容を見た上で質疑等に応えられるよう、各ブースに人員の配置をお願い致します。
- ② 展示ブースの準備につきましては、受付時間（9:00～12:00）の間をお願い致します。
- ③ 展示パネル（A1サイズ×2枚まで）につきましては、原稿データにてお送りください。実行委員会にて、プリントアウトした上で、パネルに貼付してご用意致します。
- ④ 展示パネルは、壁に直接立て掛けは出来ません。展示用のパーテーションをご用意致しますので、そちらに設置をお願い致します。

パネルおよびパーテーション、パネルの設置に関する備品等は、実行委員会にてご用意致しますが、その他に必要な備品が見込まれるようでしたら、各自ご用意をお願い致します。

第二分科会：『 芽をみつけよう 』

実施要綱

1.趣 旨

10年前の群馬大会では「情報」という種をみつけ、糧にするという目的でした。この10年で「情報」はますます収集しやすくなり、AIの発展もあり、情報が溢れた昨今では、フェイクを見抜き正しく理解することが必要な状況です。

多角的な視点で正しく「情報」を理解するということは、蒔かれた種から出てくる芽をみつける行為ともいえます。様々な立場の人が集まる建築士会で、会員から発信される生の情報や討論を通して、芽をみつけることで、青年建築士自らの建築士業務や建築士会活動の糧を得ることを目的にする。

2.開催内容

第二分科会 I 「講演形式」

身近な設計事例を通して、
将来の糧や発見の「芽をみつける」
参加型パネルディスカッションの試み

【ゲスト：地元旅館経営者】

・株式会社アクロバティックス 依田沙希

【パネリスト：地元設計事務所主催】

・株式会社 山本和之建築都市設計事務所
山本和之

・ポライトデザインオフィス 大橋洋介

【聴衆】

・各々のモバイル端末でコメント

(リアルタイムでコメントを

スクリーンに投影：QRコード読込)

【ファシリテータ：

群馬建築士会高崎支部青年部】

第二分科会 II 「ローテーション形式」

日本茶でひといき。
ひらめきで「芽をみつけ
る」

【出店協力】

茶房 TOKI NE

・Nihoncha Labo 堤音弥

【主旨】

将来の糧となる「芽を見つける」ことを目的に、本会場ならではのテーマを起点として、パネリストの設計事例を交えながら、聴衆参加型の多角的なディスカッションを展開する。議論を通じて生の情報を共有し、人脈を広げることで、建築士会の魅力や価値など、さまざまな「芽」を見出していく。
○ディスカッションの記録を、録音して生成AIで分科会の終わりに要点、成果を発表します。

【主題：磯部温泉（副題1：正しい情報の周知、副題2：情報リテラシーの向上）

磯部温泉は江戸・明治から続く歴史ある温泉地であり、近年はバブルやコロナ禍を乗り越え、活性化の取り組みが進められている。本ディスカッションでは、この温泉街をどのように更新し、持続的な発展につなげていくかを考える。群馬県で活躍する建築士をパネリストに、地域で活性化事業を担う経営者をゲストに迎え、「情報」をキーワードに、建築士が建物・街・人へどのように関わられるかを議論する。近年は情報取得や人脈形成が容易になる一方で、建築士会の価値が十分に伝わらず、会員減少が進んでいる。対面だからこそ得られる生の情報や、深くつながる人脈の意義は理解されつつも、実感が薄いのが現状である。本ディスカッションを通じて、ここでしか得られない情報と人脈の価値を再認識し、その魅力を正しく伝える方法を模索する。

ゲスト（依田沙希）



大手プラットフォームでの経験と地元・群馬での実践を融合した、地方創生・観光DXのスペシャリスト。リクルートで「じゃらんnet」、楽天で「楽天トラベル」の企画・運営に携わり、観光マーケティングの最前線で実績を重ねる。現在は安中市・磯部温泉でコンテナカフェや古民家旅館を運営し、現場で得たノウハウをもとに、AIチャットボット「guAIdo」や補助金支援などを通じて地域企業の成長を支援している。

パネリスト（山本）

伊香保ハウス166(第12回再築大賞 理事長賞、ForGoodAWARD2024 地域活性化部門賞)



「IKAHO HOUSE 166」は、伊香保温泉石段街中腹にあった旧市川旅館（築100年超）を活用し、複合施設として再生したものです。365段のうち166段目に位置し、人々が憩うセンターハウスとしての役割を担います。館内では、群馬の食や工芸、体験コンテンツを楽しめ、建物の風情や窓からの景色とともに、石段街での滞在をより豊かにします。

パネリスト（大橋）

HOUSE/O #3(GOOD DESIGN AWARD 2023)、HOUSE/O#4



北から南に細く長い、決して恵まれた環境とは言えない敷地。その敷地の形状をなぞるように伸び、分断し、それぞれを低い屋根で繋げながら建つ。雨や雪は受け止めることなく、両サイドを走る水路に受け流し委ねる姿勢。敷地入口から順にパブリック-セミプライベート-プライベートと奥に向かって閉じていく。

【主旨】

お茶を淹れる音と時間を楽しむ 文化の発信
五感で愉しむ進化した日本茶

茶道は、16世紀の安土桃山時代に千利休によって大成された、日本を代表する伝統文化です。「和敬清寂（わけいせいじゃく）」の精神を重んじ、五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚）のすべてを使って楽しむ「総合芸術」とも言われています。

視覚は、茶室のしつらえ（掛け軸や季節の花）、茶道具の造形美、亭主（ホスト）の無駄のない所作、そして季節を映した和菓子の色彩を。聴覚は、釜の湯が沸く「松風（しょうふう）」と呼ばれる音、茶杓が茶碗に当たる音、お茶を点てる時の茶筌（ちゃせん）の音など、静寂の中の繊細な響きに耳を傾けます。嗅覚は、茶室に漂うお香の香り、畳（い草）の匂い、そして点てたばかりの抹茶の芳醇な香りを感じ取ります。味覚は、季節の素材を活かした和菓子の甘みと、その後いただく抹茶のほろ苦さの調和を味わいます。触覚では、茶碗の土の質感や温もり、茶道具の滑らかな手触り、さらには歩く際の畳の感触などを肌で感じます。

伝統的な日本茶とは異なる進化を楽しむことで、【芽を見つける】ことの一助にしたい。

【茶房 TOKINE から進化した日本茶と菓子を振る舞い】



第三分科会
『建築の輪を育くんべえ』
－ みんな仲間で！ みんな一緒！ －
実施要項

1. 趣旨

皆様は『関東甲信越建築士会ブロック青年建築士協議会』＝通称【関ブロ大会】について、何をするとところ？参加して何があるの？という疑問を持ったことが一度はありますか？関ブロ大会は、関東甲信越建築士会ブロック会青年建築士協議会が主体となり、関東甲信越ブロックに所属する「群馬・山梨・神奈川・栃木・埼玉・茨城・長野・新潟・千葉・東京」一都九県の建築士が一堂に会し、それぞれが各地域でどのような活動をしているのかを発表・共有することで、お互いの知恵と経験を『聞き・見て・知り・体験し・語らい・吸収する』ことで、自己研鑽と内容を自都県に持ち帰ることで、己のみならず所属支部を含め身近にいる建築士や建築士会を知らない方とより良い世の中を作りたいという思いが込められています。

第三分科会では、様々な事を知見し経験することで、関ブロ大会って『楽しい！』『仲間がたくさんいる！』という初心の思いを参加者全員と共有して頂くため、グループディスカッションを行います。建築士会に所属してはいても、【関ブロ大会参加がまだ数回で、参加しても誰と話していいのかわからない。一都九県という関東甲信越の広域に所属する建築士たちはどのような活動をしているのかももっと詳しく聞いてみたい。参加しても知らない人ばかりで誰と話せばいいかわからないし、そもそもどこに行けばいいのかわからない。自分は青年層ではないからもう参加しなくてもいい。すでに自身のネットワークが構築されているからもう広げなくてもいい。】そのような方々に参加していただき、年齢問わず様々な仲間がいることを再認識し、どこにでも・誰にでも相談できる有意義な集まりであることを実感してください。

2. 開催概要

日時：令和8年6月19日（金）14：45～16：15
会場：2階 コンベンションホール「平安」 204・205号室
形式：参加者主体による参加型グループディスカッション

3. 参加者

- ① 関ブロ大会参加経験のある先輩建築士の方々が、「関ブロ大会は楽しい！様々なネットワークにつながる！」など関ブロ大会の楽しさを教えてあげたい自都県の会員さんを推薦し、皆様で参加して下さい。
参加者は参加者名簿に、大会申し込みと合わせて申請をお願いします。
- ② 当日参加枠も若干名募集します。事前申込者以外の当日参加の方は、14時35分までに会場にご入場し、場内スタッフにお声掛けください。

4. タイムスケジュール

時間	所要時間 (目安)	内容	備考
14:45	5分	司会挨拶・要綱説明	
14:50	40分	ヒアリング 他己紹介	
15:30	35分	ディスカッション	
16:05	10分	発表	
16:15		退場	

5. 内容

➤ 司会挨拶・要項説明

・参加して頂く方々には当日お伝えする指定のテーブルについていただきます。

4名～6名で1テーブルとしたグループに分かれて頂き、そのメンバーでディスカッションを行ってください。詳細については司会挨拶の後、ディスカッションの要綱説明を実施します。

➤ ヒアリング

・他己紹介シートを活用して隣にいる仲間の“人となり”を聞き、シートに記入。

・シートがあるので話すことが思いつかなくても、シートを埋めていけばおのずと隣にいる仲間を知れます。

➤ 他己紹介

・自己紹介では無く他己紹介！ヒアリングした仲間の“人となり”を紹介。

・グループ内の仲間に隣の仲間はどうのような方なのか他己紹介。紹介される方も自分自身では気づかなかった一面に驚嘆するかも！？

➤ ディスカッション

・グループ内全員の“人となり”を知れたところで、建築士ならではの共通点・建築をかけ離れた共通点など様々な共通点を模索し、同じ共通点がいくつあるか・何人いたかをチェックシートにメモしてください。発表前には、グループ内で見返して意外な共通点を振り返り、集計してください。

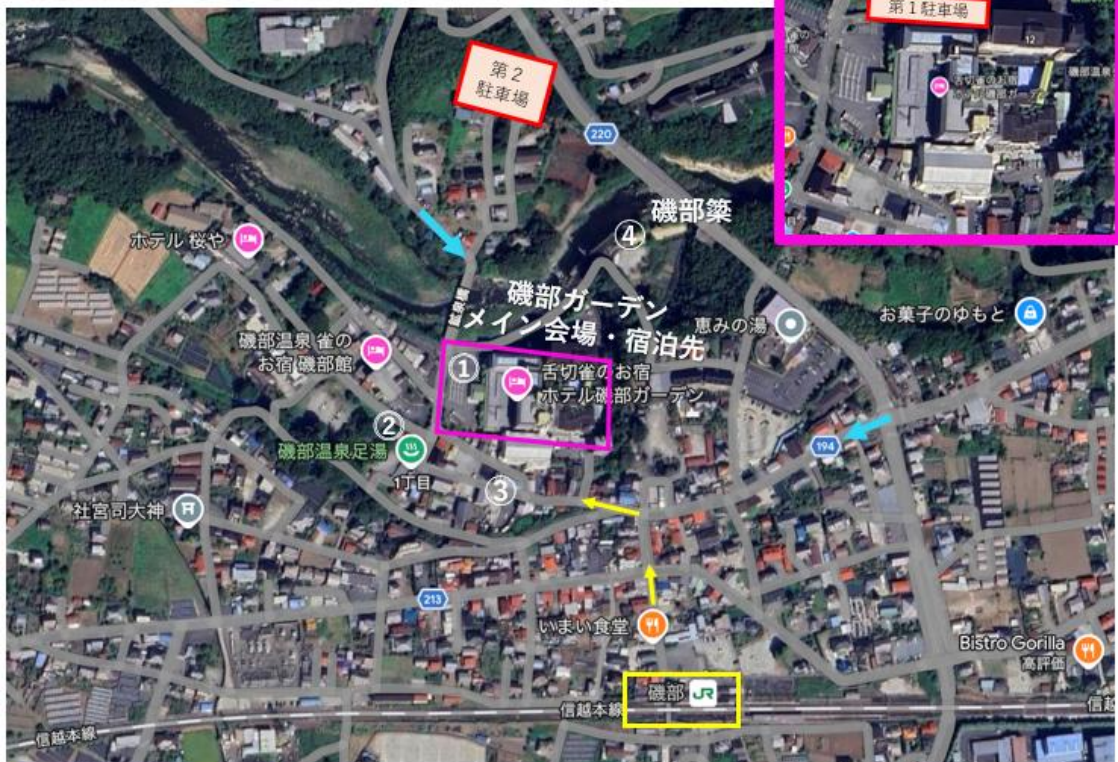
➤ 発表

・初見の仲間たちと自分自身の意外な共通点が幾つあったか・住んでいる場所が違うというだけの仲間同士で同じ共通点を持った人や建築とかけ離れたニッチな共通点を持った人とのさらなる深いつながりを感じ、関ブロ大会って『楽しい！』『仲間がたくさんいる！』を実感。

・共通点の数や共通人数による配点で最終集計を順位発表しますが、参加者同士の懇親を第一としています。

・順位に応じ、ささやかな景品を参加者にご用意しておりますので、奮ってご参加ください。

磯部温泉周辺マップ



電車でお越しの場合

車でお越しの場合

第1、第2駐車場は計約200台
※それ以上の場合は近隣駐車場を案内いたします。

①磯部ガーデン



③磯部せんべい



②足湯



④磯部築



エクスカージョンⅠ
磯部せんべいサクサクウォーク

■ スケジュール

- 10:00 体験型プログラム説明（ホテル磯部ガーデン）
- 10:15 スタート（1店舗目まではガイドツアーあり）
- 10:20 名月堂（1店舗目）
- 10:30 自由散策（2～5店舗目）
※ hitoritoiro.work+cafe でお菓子のゆもと・金誠堂の2店舗分をお渡し
※ 時間がある方はリノベーション店舗見学も可能
- 11:00 ゴール（6店舗目）

■ 参加費：1,100円

- ※ 当日のスタート地点で費用回収（領収書もご用意）
- ※ 怪我等が発生した場合の保険料込み

■ 最小参加人数：20人

- ※前日までに参加者数リスト（名前のみ）を確定・当日飛び込み参加あり

群馬大会を記念した特別コースをご用意



碓氷峠廃線ウォーク

■ スケジュール

- 9:30 横川駅→遊歩道アプトの道
- 10:40 峠の湯にてトイレ休憩
- 11:00 普段は立ち入り禁止の信越本線新線下り線へ→約 2km ほど歩いて峠の湯へ戻る
- 12:10 昼食（御案内ここまで）→横川駅まで自由散策
- 14:00 横川駅着

■ 参加費： 6600 円

■ 服装：長袖・長ズボンをお持ちください。

■ 参加人数： 40 人

通常開催時期ではありませんが、特別に開催していただく企画です。 <https://haisen-walk.com/>

歴史年表

年	出来事
1867	中山道・碓氷峠のトビックス
1868	...
1869	...
1870	...
1871	...
1872	...
1873	...
1874	...
1875	...
1876	...
1877	...
1878	...
1879	...
1880	...
1881	...
1882	...
1883	...
1884	...
1885	...
1886	...
1887	...
1888	...
1889	...
1890	...
1891	...
1892	...
1893	...
1894	...
1895	...
1896	...

信越本線新線 トンネル延長一覽表

新線・上り線	トンネル延長	アプトの道 トンネル延長	
1号トンネル	75m	1号トンネル	187m
2号トンネル	126m	2号トンネル	193m
3号トンネル	96m	3号トンネル	79m
4号トンネル	110m	4号トンネル	100m
5号トンネル	136m	5号トンネル	244m
6号トンネル	244m	6号トンネル	244m
7号トンネル	245m	7号トンネル	646m
8号トンネル	173.2m	8号トンネル	75m
9号トンネル	67.6m	9号トンネル	92m
10号トンネル	132.6m	10号トンネル	120m
11号トンネル	106m	11号トンネル	120m
12号トンネル	63.7m	12号トンネル	103m

碓氷峠 廃線ウォーク

Usui-toge Abandoned
Railway Walk

全行程約5時間、昼食は名物駅弁「峠の釜めし」、ガイド付ツアーなので安全に楽しめます。

The Abandoned Railway Walk takes about five hours (5 of guide) and along the way, you can enjoy Specialty (boxed lunch). It's safe to enjoy!



↑ **下り線コース**
out-bound line Course
(for Karuizawa)

横川から碓氷峠へ峠を越えるコース。最後の18号トンネルで標高を越えます。長野方面に列車が走った「下り線」を歩きますが、曇り坂なのでご注意ください。
The route climbs the mountain pass from Yokokawa to Karuizawa. Cross the prefectural border at the final Tunnel 18. You'll walk along the "out-bound line" which turns upward to Nagano, but be careful—it's an uphill climb!

↓ **上り線コース**
In-bound line Course
(for Yokokawa)

東京方面に列車が走った「上り線」を歩きます。碓氷峠は「片峠」、碓氷沢から横川まで曇り坂は一度もなく、下り続けます。
We walk along the "in-bound" where trains run toward Tokyo. Usui Pass is a "one-way pass" from Karuizawa to Yokokawa, there is not a single uphill slope—it depends on the route.



光と音の体験型ナイトウォーク

Light and Sound Interactive Night Walk
Ignition SERIES created by Sunast films®
[MELODIC LIGHT WALK®]

廃線跡を舞台にした体験型ナイトコンテンツです。行程は約2kmなので、子どもから大人まで一緒に体験することができます。

This is an experiential night time activity set along an abandoned railway line. The route is approximately 2 km long, making it suitable for everyone from children to adults to enjoy together.

ミニ廃線ウォーク

Mini Abandoned Railway Walk

「峠の湯」周辺で1時間で体験できるガイドツアーを販売開始しました。碓氷沢から中山道を歩いて越えた後、碓氷峠鉄道文化むらのトロッコ列車に乗った後、などに併せてお楽しみください!

We've launched guided tours around Toge no Yu that can be experienced in just one hour. Enjoy them after walking over the Nakasendo from Karuizawa, or after riding the trolley train at Usui Pass Railway Culture Village!

ガイドツアー Guide tour
江戸時代の旅人になつた気分、中山道最大の難所、碓氷峠を歩くツアーです。
This tour lets you walk the Usui Pass, the most challenging section of the Nakasendo Road, feeling like a traveler from the Edo period.



Usui Toge / Nakasendo 碓氷峠中山道

長野県と群馬県を結ぶ碓氷峠の頂上付近は日本海側と太平洋側を分ける分水嶺であり、急勾配の峠峰であることから、中山道の三大難所の一つともなっています。
The Usui Pass connecting Nagano and Gunma Prefectures features a watershed dividing the Sea of Japan and Pacific sides near its steep summit. Due to its steep hillside a single-sided path, it was considered one of the three major difficult sections of the Nakasendo highway.

遊歩道アプトの道

Apt Promenade
国の重要文化財である旧丸山変電所をはじめ6つの構造物の歴史があり、めがね橋を代表する鉄道遺産群などの碓氷峠を遊歩道に楽しめることができます。



a nationally designed Important Cultural Property, as well as six bridges and ten tunnels, allowing visitors to experience the heritage of the Usui Pass railway, including the group of brick railway structures, such as the Megane Bridge.

碓氷線文化財インストラクター

Usui Line Cultural Heritage Instructor
めがね橋や丸山変電所などで観光者に鉄道遺産の歴史を解説してくれます。そして、思い出に残る旅をサポートしてくれます。ぜひ、お声がけください。
They provide historical explanations of railway heritage sites like the Megane Bridge and the former Matsuyama Substation to tourists. And they help create memorable journeys. Please feel free to ask them for assistance.

世界遺産登録を目指す碓氷峠鉄道施設群

世界遺産登録のカテゴリーでは文化遺産、自然遺産、複合遺産のいずれの可能性も秘めています。群馬県と長野県境の碓氷峠は、近世から近現代に至る重要な歴史文化遺産の宝庫であり、先人たちが残したものを保全し、次の世代へ継承することが目的です。

The Usui Pass Railway Facilities Aiming for World Heritage Registration
The site holds potential for designation under any of the World Heritage categories: cultural heritage, natural heritage, or mixed heritage. The Usui Pass, straddling the border between Gunma and Nagano Prefectures is a treasure trove of layered historical and cultural heritage spanning from the early modern to the modern era. Its purpose is to preserve the legacy left by our predecessors and pass it on to future generations.

おすすめスポット Recommended Spots



碓氷峠鉄道文化むら
Usui-toge Railway Heritage Park

見て、触れて、体験できる峠と鉄道の歴史。通称ポツポツタウン、遊歩道アプトの道と並行して走るトロッコ列車がおすすめです。夜のキャンプイベントも人気です。
See, touch, and experience the history of mountains passes and railways. Known as Potts Town. We recommend the trolley train runs parallel to the Apt Promenade. Night time camping events are also popular.



日帰り温泉「峠の湯」
Day-trip Hot Springs "Toge no Yu"

露天風呂から見える妙善山の景色が素晴らしい温泉です。レストラン、カフェ、ログハウスコテージ、キャンプサイトがある複合型施設です。
This hot spring offers spectacular views of Mt. Myōjō from its open-air bath. It is a multi-purpose facility featuring a restaurant, café, log cabin cottages, and campsites.



玉屋ドライブイン
Tamaya Drive-In



関所食堂
Sekisho Shokudo



松一食堂
Matsu ichi Shokudo



おきのや 横川駅売店
Oginoya Yokokawa Station Store



サヤカフェ
SAYACAFE



霧積ブルワリー
Kirizumi Brewery

